



**省エネ、脱炭素、感染症対策、新技術、
4つのテーマに応えた快適空間。**

2022年9月、西九州新幹線の開業を契機に、新たな陸の玄関口として誕生した新長崎駅ビル。地上13階、延床面積10万2千平方メートル。高層階（7～13階）には長崎マリオットホテル、中層階（5・6階）にオフィス、低層階（1～5階）に商業を配した複合型駅ビルです。100年に一度の革新のときと言われる長崎駅周辺開発事業の

ひとつで、新しい長崎のランドマークになる建物。株式会社JR長崎シティの井上真美様は意匠について、「長い歴史の中で生まれた長崎独自の文化である和華蘭文化。設計やデザインにもその文化を紐解いて反映し、長崎らしい開かれたにぎわいのある空間をめざしました」とおっしゃいました。建設工事を担った九州旅客鉄道株式会社の中村伸教様は、「実はコロナ禍前の計画はまるで違うものでした」と基本設計

を途中で大きく見直されたことを教えてくださいました。「コロナ禍になって人の動きが自粛され、安全や安心、サステナビリティへの意識も変わりました。これまで通りの建物では新しい長崎駅ビルへの期待に応えることができないと計画を見直すことになりました。検討の結果、省エネ、脱炭素、さらには感染症対策に新技術という4つのテーマを掲げて、快適な空間と時間をお届けする建物をめざすことになりました」。

長崎らしいデザインの裏では省エネルギー性と環境性に優れたエネルギーソリューションを展開。



九州旅客鉄道株式会社
事業開発本部 開発工事事務 副課長 中村伸教様



株式会社JR長崎シティ
総務部 施設運営課 課長 井上真美様

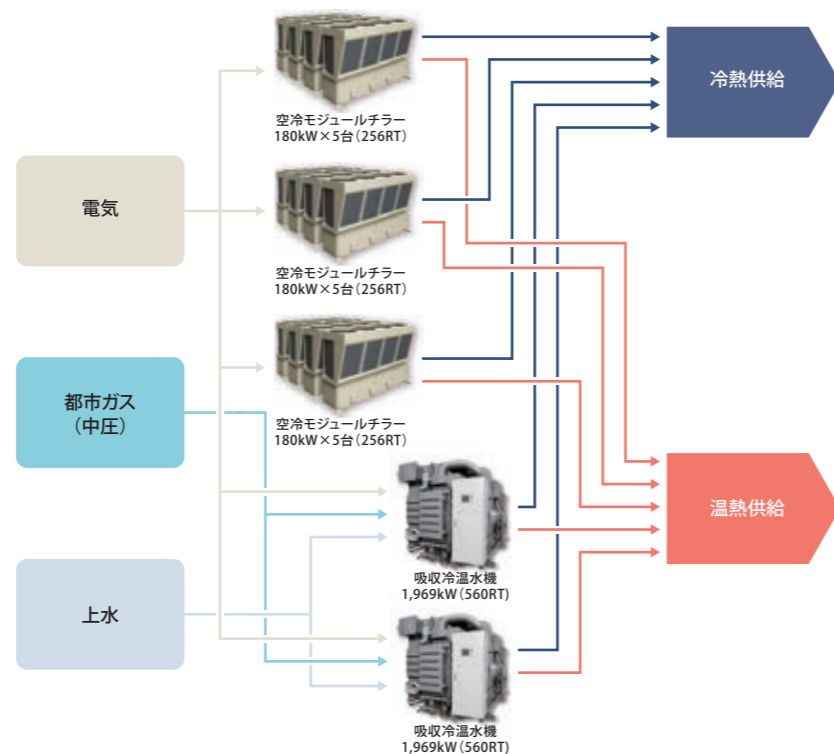


西部ガステクノソリューション株式会社
エネルギーソリューション本部 広域エネルギー営業部
専門部長 原智徳様

**ベストミックスによる最適化。
安心で安定したエネルギー供給をご提案。**

新長崎駅ビルでは環境課題に 대응すると同時に、安定したエネルギー供給が求められました。その要望に応えたのが、西部ガステクノソリューション株式会社が提供するエネルギーサービス (ES) 事業です。原智徳様は「新長崎駅ビルは地域振興の中心。長崎のこれからの街づくりの拠点として重要な役割を持ち、また、将来に渡って持続可能、省エネ性、環境性に優れ、さらに、お客様に安心して快適にご利用いただく必要があります。我々は空調設備の計画・設計はもちろんのこと、開業後の運用までをワンストップで実施し、高品質のエネルギーサービスをご提供することを第一に考えました。安定供給に関しては、長年の設備運営のノウハウからガスと電気をバランス良く利用し、状況に応じて最適なエネルギーを選択することで電力負荷を平準化させ、停電や災害時のエネルギーセキュリティ面での向上も図りました」と提案のポイントをご説明くださいました。九州旅客鉄道株式会社の中村様は「実績と信頼も大きな決定要因でした。既存のアミュプラザ長崎も20年にわたり西部ガステクノソリューション様が安定運用されてこられましたから」と満足な様子。原様は「最適なシステムの計画を、私たちエネルギーのプロが最適に運用していくことで、安定供給、省エネ、環境性、さらにはランニングコスト低減にも応えるシステムができました。その実現にはパナソニック様と協業できたことも大きいです」とおっしゃいました。

[エネルギーサービス (ES) 熱源系統図]



エネルギーの効率運用ができるように細かな設計とハイスペックの設備を導入。



鉄とレンガという国際都市長崎の歴史をイメージさせる素材やカラーを採用している。

植栽もふんだんに取り入れて、自分の時間をゆっくり過ごすことができる空間を演出。





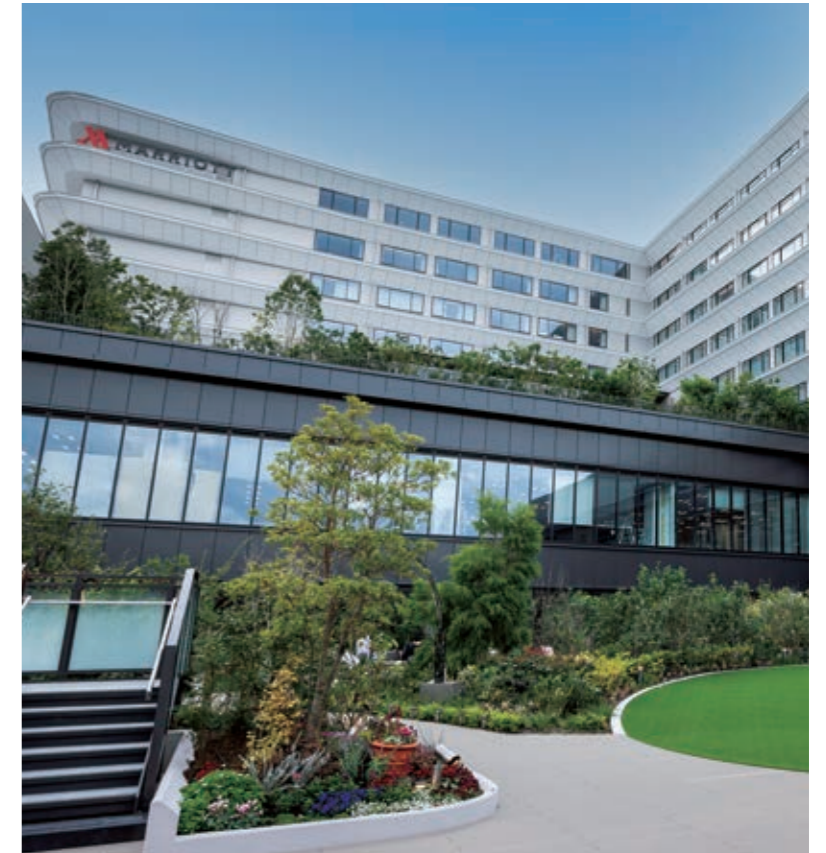
パナソニックはカタログの数値では表せない信頼がある。

今回、新長崎駅ビルに導入されたのは、節電型ナチュラルチラーPR型の吸収冷温水機。水を冷媒にしたノンフロン空調システムで、従来型に比べ冷却水流量の大幅削減と高効率・高部分負荷効率により動力・燃料の削減を図ります。西部ガステクノソリューション株式会社の原様は、「パナソニック様には商品スペック以上の信頼がある」とおっしゃいます。「新長崎駅ビルの稼働は、24時間というハードなものです。エネルギーサービス事業は熱源システムを納入すれば終わりということにはなりません。その後のメンテナンスが重要なのです。特に私どもは予防保全に力を注いでいます。万全を期するためには私どもだけではできないことが多くあり、メーカー様と強力なタッグを組んで当たらなければできません。その点、私どもはパナソニック様のナチュラルチラーを数多く納入してきました。納入先の状況に応じたメンテナンス体制も築くこともできています。このパートナーシップがあるからこそ、九州旅客鉄道株式会社様や株式会社JR長崎シティ様には安心と信頼を、そして新長崎駅ビルには快適な空調を長年にわたりお届けできるのです。株式会社JR長崎シティの井上様は完成した新長崎駅ビルについて笑顔でこうおっしゃいました。「お客さまが快適にゆっくりと、時間を楽しんでいただく駅ビルをめざしました。このにぎわいは多くの方々にご協力いただいて完成しました。本当に良い空間になったと思っています」。安全で、安心で、安定した、次代に伝える快適環境の実現。パナソニックの空調技術が新しい長崎のにぎわいをサポートしていきます。



新長崎駅ビル

所在地／長崎県長崎市尾上町1番1号
事業主／九州旅客鉄道株式会社・株式会社JR長崎シティ
設計／株式会社大林組
商環境設計／株式会社乃村工務社
施工／大林組・九鉄工業特定建設工事共同企業体
E S 事業者／西部ガステクノソリューション株式会社



長崎港や稲佐山を臨む、すばらしいロケーションのホテルもオープン。



新長崎駅ビルにはパナソニックの吸収冷温水機（ナチュラルチラー）が稼働。



ノンフロン空調の省エネ・高効率機の採用でCO₂削減に効える。

- ◀ (上写真) ガスと電気の複合型ソリューションで省エネと脱炭素に応えながら、安定供給による快適空間を実現。
(下写真) 長崎駅コンコース
西九州新幹線開業とも連動した、新たな陸の玄関口。

主な納入設備

- 吸収冷温水機（ナチュラルチラー） QEW-PR560FG×2基